

教育委員会会議 平成29年8月定例会 会議録

日 時	平成29年8月24日 (木) 13:30 開会 14:30 閉会	会 場	教育委員会室
出席委員	原田 良一 寺元 貴幸 森 尚美 長江 真理子 尾島 邦昭		
出席職員	絹田学校教育部長 松尾生涯学習部長 忠政こども保健部長		
	戸田学校教育部次長(兼)企画調整官(兼)教育総務課長 朝田生涯学習部企画調整官		
	坂本スポーツ課参事 小坂田生涯学習部次長(兼)文化課長		
	平井こども課長 松田学校施設課長		
	美若学校教育課参事 丸山保健給食課長 安藤生涯学習課長		
	尾島津山市史編さん室長 仁木教育総務課主幹 近藤教育総務課主任		
議 事	案 件		担 当 課
1.開 会 2.教育長あいさつ 3.会議録署名者 について 4.前回及び前々回 会議録の承認 5.教育長等の 報告 6.議 事 (1)議 案	平成28年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について 津山市教育支援委員会教育支援専門員の委嘱及び任命について 津山市青少年育成指導委員の委嘱及び解嘱について 津山市歴史文化基本構想等審議会委員の委嘱について		(教育総務課) (学校教育課) (生涯学習課) (文化課)
(2)協議	平成29年度9月補正予算について 津山市公民館条例の一部を改正する条例について 旧妹尾銀行林田支店条例について		(各課) (生涯学習課) (文化課)
7.その他 (1)各課からの お知らせ	津山市公民館文化祭開催日について 津山市立図書館入館700万人突破と図書館まつりについて 津山郷土博物館休館について 戸島学校食育センターの指定管理について		(生涯学習課) (図書館) (文化課) (保健給食課)
(2)次回定例会の 開催について	津山市教育委員会会議9月定例会の日程について 平成29年9月28日(木)午後1時30分から		
(3)その他			
8.閉会			

傍聴者 0名

教育委員会会議 平成 29 年 8 月定例会 会議録

(13 : 30)

1. 開 会

2. 教育長あいさつ

3. 会議録の署名者の件について

津山市教育委員会会議規則第 15 条第 2 項の規定による。

4. 前回及び前々回会議録の承認

全員賛成

5. 教育長等の報告

今回は該当なし

6. 議事

(1) 議案

平成 28 年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について（教育総務課）

概要説明

6 月の教育委員会協議会で、各部・各課で取りまとめた執行状況等と、報告書作成までの日程について報告させていただいた。その後、7 月 12 日に外部評価を実施し、また、教育委員会の総評についても取りまとめができたので、教育委員会でお諮りするもの。なお、点検評価報告書は承認後、9 月の文教委員会で議会へ報告の予定。それでは、6 月の協議会以降の修正点等について説明する。3 ページ上のグラフが過去 5 年間の推移。平成 28 年度は、131 項目中、A が 99 件、B が 31 件、C が 1 件、D が 0 件になった。外部評価は昨年度と同じ 2 名の方にお願ひし、その内容は報告書 94 ページから 99 ページ。いずれの方からも教育委員会の取り組みについて、一定の評価をいただくことができ、今後、平成 29 年に策定した教育振興基本計画の実現に向けて、さらなる取り組みの充実を期待するといった内容の意見や指摘もいただいた。3 ページに 6 月の協議会以降の変更点について、修正箇所を記載している。一つ目は、確かな学力の向上で、学力状況調査だけでなく、達成できた取り組みもある。誤解を生じる恐れがあると指摘いただいたことから、評価を下げた理由が重点取組（学力状況調査）の結果によるものであることがわかるように表現を修正した。次に文化財の保存と活用については、平成 29 年度に繰越した事業であるため、決算額が 5,000 とあるが実績 0 と表現を修正した。次に郷土史学習の推進については、変更点の 1 番が施策の実績概要と評価理由中、「げんぼプロジェクト」と書いてあるものが、「My Town つやま活用事業」であること、今後の課題と方向性中、「古臭い展示」と書いてあったものを「陳腐化した展示」に変えている。最後に教育委員会の総評を 100 ページから 105 ページに掲載している。これは、教育委員皆様の意見をいただいた総評になる。最後に「今後の教育環境の変化等に対応しつつ、引き続き、津山市の教育の充実・発展のために、高い使命感と責任感を持って、第 2 期振興計画を確実に実行・推進していきます。」と決意を述べて結びとしている。

全員の挙手により原案通り可決承認

津山市教育支援委員会教育支援専門員の委嘱及び任命について（学校教育課）

概要説明

津山市教育支援委員会規則第 7 条に基づき、津山市教育支援委員会教育支援専門員を委嘱及び任命するもの。教育支援専門委員は保育園・幼稚園等から提出された調査書に基づき、幼児の適切な就学に向けての訪問調査を行う。その調査内容は、対象となる幼児の性格や行動、集団での生活状況。また、教育支援の状況や資料の収集を行います。このことについて訪問調査を行い、教育支援委員会に報告をするもの。期間は、専門的事項の調査終了までとなり、概ね 9 月から 12 月を予定している。人数は 4 ページにある 13 人を予定しており、津山市保育協議会から 3 名、津山市特別支援教育推進センターから 7 名、保育療育の関係機関から 3 名を委嘱及び任命する。

全員の挙手により原案通り可決承認

津山市青少年育成指導委員の委嘱及び解嘱について（生涯学習課）

概要説明

井尾委員さんの体調不良により辞退の申出があったため、連合町内会倭文東支部の方から磯山委員の推薦があった。任期は平成 29 年 9 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの前任者の残任期間。解嘱者は井尾委員で、8 月 31 日付けで解嘱する。

全員の挙手により原案通り可決承認

津山市歴史文化基本構想等審議会委員の委嘱について（文化課）

概要説明

今年度から 3 ヶ年をかけて文化財行政のマスタープランとなる歴史文化基本構想を策定する。教育委員会の諮問に応じて審議をしていただく学識を有する人たちで構成される審議会委員の委嘱で、新たにすもの。委嘱期間は、平成 29 年 9 月 1 日から平成 32 年 8 月 31 日までの 3 年間。委員については記載の 10 名を予定している。1 番から 8 番までの方が、民俗学・古代史・近代鉄道遺産・都市の景観・マーケティング・観光・建築のエキスパートの方、美術館学芸員の方で、学識経験者の方をお願いしている。9 番 10 番は、公募による市民委員を 2 名お願いしている。

全員の挙手により原案通り可決承認

(2) 協議

平成 29 年度 9 月補正予算について（各課）

概要説明

（学校教育部）

「各課」とあるが、各部の調整官若しくは主管課長の方から説明する。最初に、学校教育部から説明する。学校教育部が 9 月補正でお願いしているのは、6 件 8,160 千円の増額補正になる。1 件目、小学校一般管理費は大崎小学校の運営経費として、130 千円の寄付をいただいたので、それに伴う歳出予算を計上したもの。2 件目の小学校施設管理費は、南小学校に設置していた SL を移設した跡地整備に係る経費で、小学校駐車場の舗装、フェンス設置などの工事関係費を計上している。3 件目小学校不登校対策実践研究事業、及び 5 件目の生徒指導・不登校対策事業（登校支援員配置事業）は、いずれも岡山県の委託事業で、不登校・長期欠席対策事業委託金（県支出金）の追加配分に対応するもの。事業実施に必要な賃金や謝礼金を計上している。4 件目は長期宿泊体験活動推進事業として 1 校分の事業費を計上していたが、実施希望校がなかったため、対象経費を減額するもの。6 件目は戸島学校食育センターにおいて、早急に配管の改修が必要となったため、工事関係費を要求している。

（生涯学習部）

生涯学習部所管の補正予算が 5 件、債務負担行為が 4 件ある。健全育成事業は生涯学習課の所管で 600 千円、中山間地域で課題解決やまちづくりに参画する中高生や指導者を育成するために NPO 法人だっぴ、美作大学の学生と連携し、加茂中学校 2 年生を対象としたワークショップ、中学生だっぴをモデル事業として行う等の経費で、県の委託事業を活用し、全額、県の委託費によって実施する。続いて文化課のアート・デザイン賑わい拠点事業 43 千円、これは旧洋学資料館である旧妹尾銀行林田支店に整備する芸術文化交流拠点施設を管理運営する指定管理者を今年度選定するが、その審査委員の謝礼金を計上している。美作国分寺跡保存整備事業 1,000 千円は、筆界未定地の地図訂正等に係る測量委託料の計上。郷土博物館管理運営事業 700 千円の減額。これは耐震改修事業に伴い、来年 1 月から閉館とする。これによって不要になる特別展などに係る経費を減額。次に、洋学資料館管理運営事業で、指定寄附に伴い展示用原資料を購入するもの。寄附をいただいたのは、箕作阮甫の孫、国勢調査の原案を作成した統計学者の故呉文聰さんの末裔の方で、東京都文京区にお住いの古田様から 50 千円の寄附をいただいた。債務負担行為は、生涯学習課で、二宮公民館整備事業の変更。西エリアの幼稚園との複合施設として整備を進めているが、当初の計画から建築資材等の若干面積が増加している。これに伴う工事監理委託料と工事費の増額補正、変更後は 120,300 千円。続いて、旧妹尾銀行林田支店管理運営事業は、先ほど説明したとおり、指定管理者を選定していく上で、平成 30 年 10 月から最初の期間 2 年半の平成 32 年度までを 1 つの指定管理の期間とし、指定管理者を公募していくのに必要な債務負担行為。歴史文化基本構想策定業務委託 6,000 千円の増額、先ほど説明のあった歴史文化基本構想を策定していくうえで、コンサルに委託する。今年度から平成 31 年度までの事業で、業者選定をしていく。平成 30 年度と平成

31年度の経費6,000千円をここで債務負担で要求する。郷土博物館耐震化事業の追加で22,000千円の限度額で要求している。これは、郷土博物館に係る耐震改修の設計委託の経費、今年度から着手し、平成30年度までの期間で設計をする。この予算を認めていただき、業者選定に入る。

(こども保健部)

こども保健部所管の補正予算の説明をする。補正予算が2件、債務負担補正が1件となっている。幼稚園管理職員給与関係費については、補正額は0円だが、岡山県電源立地特別補助金の確定見込みにより、一般財源を385千円減額補正する。続いて幼稚園再構築施設整備事業は24,330千円の要求をしている。西エリア幼稚園の関連では、北側の国交省の土地について平成30年度取得予定であったが、国、県との協議が整ったことによる補正となる。幼稚園再構築施設整備事業の債務負担行為の補正は、新設幼稚園の施設整備事業で、平成29年度から平成30年度の建築工事費について建築資材等の高騰により56,700千円の増額変更を行うもので、変更後の限度額については949,300千円となる。
全員の挙手により原案通り可決承認

津山市公民館条例の一部を改正する条例について(生涯学習課)

概要説明

条例案の内容は、今現在、広野公民館と田邑公民館の多目的アリーナの建築工事を進めている。工期は今年の12月25日まで。これに伴い、広野公民館は建替えのため住所を改める。2番目として田邑公民館の多目的アリーナは、旧田邑村時代の中学校体育館で大変老朽化していた。地域の方々の要望等もあり、多目的アリーナとして新たに建替える。新築になることから使用料の設定をする。1時間までの金額は1,540円、照明は100円。なお、加算額についてはアリーナについては1時間ごとに1,540円、照明は30分ごとに50円。条例施行日は平成30年1月29日。具体的に、新旧対照表をつけている。多目的アリーナについては、15ページの左、施設区分の中ほどの「会議室F及び研修室F」に「多目的アリーナ」の追加。金額については、先ほど申し上げたとおり。次の16ページ、田邑公民館に多目的アリーナ照明を追加。

全員の挙手により原案通り可決承認

旧妹尾銀行林田支店条例について(文化課)

概要説明

旧妹尾銀行林田支店、旧洋学資料館ですが、アート&デザインの賑わい拠点施設として整備するに伴い、条例を9月議会に提案するもの。条例の目的は、1.歴史的建造物である旧妹尾銀行林田支店を保存し、広く一般に公開するとともに、芸術文化の創造、育成及び発信の場として提供することにより、芸術文化の振興及び地域交流の促進を図り、もって地域の活性化に資するため、旧妹尾銀行林田支店を設置することとする。2.旧銀行の管理は、指定管理者に行なわせることができることとする。3.開館時間は、午前10時から午後6時までとする。4.休館日は、火曜日、祝日の翌日、12月29日から翌年1月3日まで。5.利用者は、あらかじめ教育委員会の許可を受け、次の利用料金を算定した額の利用料金を納付しなければならない。ただし、営利目的の場合は、表の料金に100分の150を乗じて得た額を納付する。スペース1から5は、先月の協議会で、平面図で説明したが、スペース1は入ってすぐの木造で、銀行の本館のところ。スペース2・3は入って奥に煉瓦の倉庫があり、2つ部屋がある。スペース4は収蔵庫。スペース5は中庭にある金庫。ガーデンスペースは中庭。それぞれの施設を料金設定している。料金設定にあたっては、津山市立文化展示ホール・城西浪漫館・岡山県内のギャラリーの利用料金を調査し、勘案して設定している。基本的には、1時間単位を考えているが、1日単位で借りていただくと少し金額が安くなる。あるいは、7日以上連続して借りていただくと更に料金が割安になっている。そういう考え方で、料金表を作成している。この条例の施行は平成30年10月1日から。

全員の挙手により原案通り可決承認

7. その他

(1) 各課からのお知らせ

津山市公民館文化祭開催日について(生涯学習課)

概要説明

公民館文化祭の開催時期となった。早速、来月の9月から来年の2月まで、各公民館で、生涯学習の発表の場として行われる。それぞれ土日開催される。教育委員の皆様にも見学等、お願いしたい。なお二宮公民館については未定と書いている。現在、西エリア幼稚園との複合施設ということで工事が進み、

現在の公民館は解体している。地元が会場探しをしているが、年度末の開催に向け調整している。

津山市立図書館入館 700 万人突破と図書館まつりについて（図書館）

概要説明

市立図書館が 11 年 4 月にアルネの 4 階に移転してから入館者数が 8 月 20 日に 700 万人に到達した。ちょうど図書館まつりを実施していたが、記念のセレモニーを行った。来館者は、市内在住の吉本紗由美さん。あわせて、下の欄に第 17 回図書館まつりを 8 月 19 日 20 日に実施した両日の入館者数、行事の参加者数を示している。

津山郷土博物館休館について（文化課）

概要説明

昨年に津山郷土博物館の耐震診断を行い、耐震補強が必要であることは 3 月にお伝えしたが、スケジュールが決定したので報告する。今年度後半から平成 30 年度前半にかけて実施設計を行う。平成 30 年度後半から平成 31 年度末まで耐震化工事を実施する。これに伴い、博物館資料の梱包・養生などの準備に着手するため、郷土博物館の開館は、今年 12 月 28 日までとし、平成 30 年 1 月から平成 32 年 4 月ごろまでを休館としたい。耐震補強については、この建物が国の登録有形文化財であり、外観の変更ができないので、内部工事に対応する。博物館資料の保全にも細心の注意を払いながら行いたい。

戸島学校食育センターの指定管理について（保健給食課）

概要説明

戸島学校食育センターの調理委託業者が、この 8 月から交代し、日本国民食が業務を行っており、8 月 28 日から給食を開始する。

(2) 次回定例会の開催について

教育委員会会議 9 月定例会を平成 29 年 9 月 28 日(木)午後 1 時 30 分から開催。
全員賛成により決定

(3) その他

8. 閉会

(14 : 30)